



## Stage 4

### 男声合唱組曲「尾崎喜八の詩から」

作詩／尾崎喜八 作曲／多田武彦  
指揮／広瀬康夫 独唱／橋本尚樹

- I 冬野
- II 最後の雪に
- III 春愁 ーゆくりなく八木重吉の詩碑の立つ田舎を通過ー
- IV 天上沢
- V 牧場
- VI かけす

## MESSAGE

作曲家

### 多田 武彦

80周年記念演奏会、心よりお祝い申し上げます。

世間では、ともすれば歴史の長さだけを誇示する企業や団体が多い中で、新月会が永年にわたって、合唱音楽の正統性を堅持し続けるために、伝統の継承と技術の練磨を重ねてこられたことに対し、深甚なる敬意を捧げます。

私事ながら1947年旧制大阪高等学校入学直後コーラス部に入部したものの、男声合唱の何たるかは、判りませんでした。

1949年5月5日、オール関西学院グリークラブの50周年記念演奏会を聴いたその日から、「人間の声だけで、こんなにも素晴らしい音楽ができるのか」との感慨が私に宿りました。

1954年から今日に至るまで、専ら、ア・カペラの男声合唱組曲を書き続けてきた入口は、実にこの日に開かれていました。

「爾後、折に触れて厳しく教えてくださった林雄一郎先生・林慶治郎先生」、ならびに、「未来に向けて一層の発展を予見させる新月会」と「1949年5月5日以降、演奏会のオープニングに鳴り響くOLD KWANSEI」は、私にとっても、悠久の恩師と謂えるでしょう。